

年齢や性別に関係なく、障がい等の有無に関わらず楽しめる  
スポーツ。すべての人を笑顔にさせてくれる自転車をご紹介します。

電動アシスト自転車「e-bike」

体力の格差をなくし  
性別・年齢不問の  
スポーツに

ペダルを回すことでモーターが回転し、少ない力でもスムーズに走行できる電動アシスト自転車。1993年にヤマハ発動機が世界初の電動アシスト自転車を開発して以来、年々市場規模が拡大。近年、環境志向と健康志向の高まりを受け、需要が右肩上がりに伸びている。浜松駅前の浜松魅力発信館「The GATE HAMAMATSU」内のはままつペダルでも、ママチャリ仕様の電動アシスト車やミニベロタイプのe-bikeなどを取り揃える。中でもスポーツタイプのe-bike(YPJ-EC)は人気が高い。アシストパワーと走行距離を重視した大容量バッテリーで1日中走行が可能のため、ロングライドにおすすだ。本格ロードバイク仕様でありながらフラットバーハンドルで扱いやすいのも魅力。体力に自信がない方や健康のためにサイクリングを始めたい方は試してみたいかたがらうか。



e-bike(YPJ-EC)の  
ココがすごい!

スタンダードモードで109kmのアシスト走行が可能な大容量バッテリー。多彩な表示メニューを備えた液晶ディスプレイにはバッテリー残量や走行距離、消費カロリーなど一目瞭然。リヤ9段ギアとの組み合わせで全18段変速を採用。坂道や向かい風の時の疲労感も少なく、快適走行を実現する。

はままつペダル  
4時間3,000円 / 1日4,500円  
☎080-3652-3196  
住: 浜松市中区旭町37  
(The GATE HAMAMATSU)  
営: 9:00 ~ 18:00  
<https://www.hamamatsupedal.com/>

RENTAL

2人乗りの「タンデム自転車」

健常者と視覚障がい者が  
協力し合う  
バリアフリースポーツ

2つのペダルとサドルを備え、前後に並んで乗車する2人乗りタンデム自転車。前方のパイロットがハンドル操作を行うため、視覚障がい者も後部座席でサイクリングを楽しめる。タンデム自転車はパラリンピック種目の1つ。東京パラリンピック2020では静岡県が開催地となっており、県内ではタンデム自転車の普及活動が本格化している。2016年には公道走行が解禁され、2019年12月には全国初の障がい者向け自転車競技「パラサイクリング」の県大会を実施予定。市内でも浜松視覚障害特別支援学校にて体験会を実施するなど普及活動を進めている。



タンデム自転車の  
ココがすごい!

正面から見た表面積は1人分だが、自転車を漕ぐ力は2人分。後部座席の人は空気抵抗を受けにくいので、想像以上にスピードが出せる。2人で息を合わせ、重心移動のタイミングを合わせることがポイントだ。

イチヤサイクルセンター  
1日5,000円 ☎053-461-2406  
住: 浜松市中区船越町30-36 営: 10:00~19:00  
<https://www.ichiyacycle.com/>

RENTAL

浜松市やりまいか大使 SPECIAL INTERVIEW

絶景プロデューサー

詩歩  
Shiho

浜松の魅力を発見!  
大人になって  
好きになりました♡



浜松出身の詩歩さん、地元についてどう思いますか?  
私は高校生まで浜松で育ちましたが、当時は正直あまり好きではありませんでした。でも浜松を離れてから、今まで知らなかった魅力をたくさん発見し、今では本当にいい場所だと感じています。特に気候に関しては、どなたか温暖で過ごしやすく、関東に引越して身をもって実感しました。全国的に気温が1桁台から氷点下を記録する日でも、沖繩と静岡だけは10℃台ってこともありましたね。絶景の仕事をするようになり、いろんな地域にアンテナを張り巡らしているからこそ、今まで見えていなかった地元の良さにもたくさん気付けたのだと思います。

浜松のお気に入りのスポットはどこですか?

一番のお気に入りは天竜浜名湖鉄道の都田駅です。マリメッコ二色で、北

欧を旅したような気分になれます。もともとグッズを集めるほどマリメッコ好きなので、この場所を発見したときはテンションが上がりました。3カ月に1回ほど帰省するのですが、都田駅までわざわざ行くこともありません。

また景色として一番おもしろいと思うのは、秋葉神社の上社です。青空をバックに金の鳥居が作り出す絶景は、標高866mまで登ったあとの最高のご褒美です。私が行ったときもツーリングで来ている方がたくさんいて、写真を撮られていました。

浜松でのお仕事で印象的だったのは?

ドローンの世界トップシェアを誇る「DJI JAPAN」さんのプロモーション企画で、浜松を舞台にした動画「フライト with MAVIC AIR」を制作したことです。市内を一泊2日で旅しながら、弁天島のシンボルタワー・周辺・立須・中田島砂丘・龍山の茶畑をめぐり空撮を行いました。実はこの4箇所、申請なしでドローンを飛ばせる、全国的にも珍しいエリアです。今はドローンを持っている人は増えましたが、自

1990年生・浜松市出身・早稲田大学卒  
世界中の絶景を紹介するFacebookページ「死ぬまでに行きたい!世界の絶景」を運営し、70万以上のいいね!を集め話題に。書籍では累計63万部を突破。昨今の「絶景ブーム」を牽引している。現在フリーランスで活動し、旅行商品のプロデューサーや企業とのタイアップ、自治体などの地域振興アドバイザーなども務め、多方面で活躍中。  
Facebook <https://www.facebook.com/sekainozekkei>  
Official Blog <http://shiho.me> Official Site <https://zekkei-project.com>  
Instagram <https://instagram.com/shih0107/>



●マリメッコだらけの無人駅「都田駅」

Book Information

死ぬまでに行きたい!  
世界の絶景 ガイド編

2019年9月25日に発売したシリーズ6作目。初の公式ガイドブックとして登場。現地をめぐった実体験をもとに、おすすめのお食事処やベストショットタイムなど細かく明記。書いてある通りに進んでいけば「絶景に出会える」そんな一冊に仕上がっています。



●秋葉神社の黄金の鳥居



由に使用できる場所がなかなかないという声があがっています。雄大な自然の中で飛ばせるエリアが、浜松にこんなにあるなんて魅力的ですよ。空撮でなければ見られない絶景は「え?ここが浜松?」と地元民でも驚くほど。私自身、住んでいても知らなかった新しい地元の魅力を再発見する機会になり、とても刺激になりました。

※夜間飛行や目視外飛行など、飛行方法によっては国土交通省の許可が必要になる場合もあります。法律とルールを守り、安全にドローン飛行を楽しみましょう